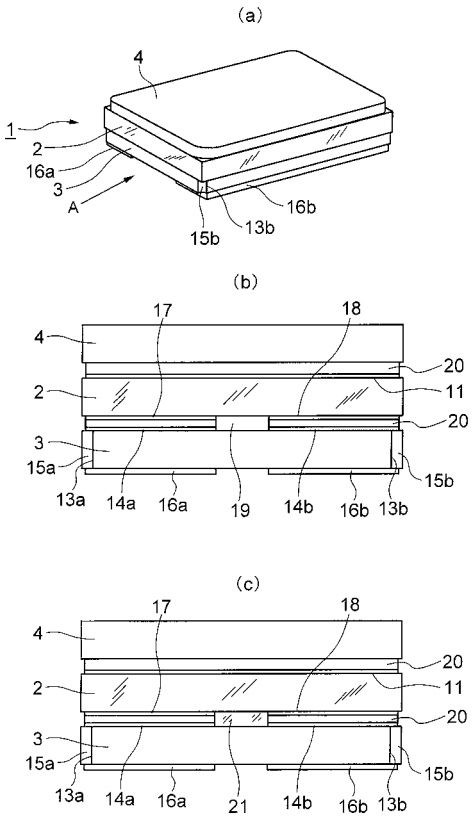
【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成23年5月6日(2011.5.6)

【公開番号】特開2011-45041(P2011-45041A)
【公開日】平成23年3月3日(2011.3.3)
【年通号数】公開・登録公報2011-009
【出願番号】特願2010-106077(P2010-106077)
【国際特許分類】
Ｈ０３Ｈ　9/02　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/09　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/18　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　41/22　(2006.01)
Ｈ０１Ｌ　23/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０３Ｈ　9/02　Ａ
Ｈ０３Ｈ　9/02　Ｌ
Ｈ０１Ｌ　41/08　Ｃ
Ｈ０１Ｌ　41/18　１０１Ａ
Ｈ０１Ｌ　41/08　Ｌ
Ｈ０１Ｌ　41/22　Ｚ
Ｈ０１Ｌ　23/02　Ｃ
Ｈ０１Ｌ　23/02　Ｄ

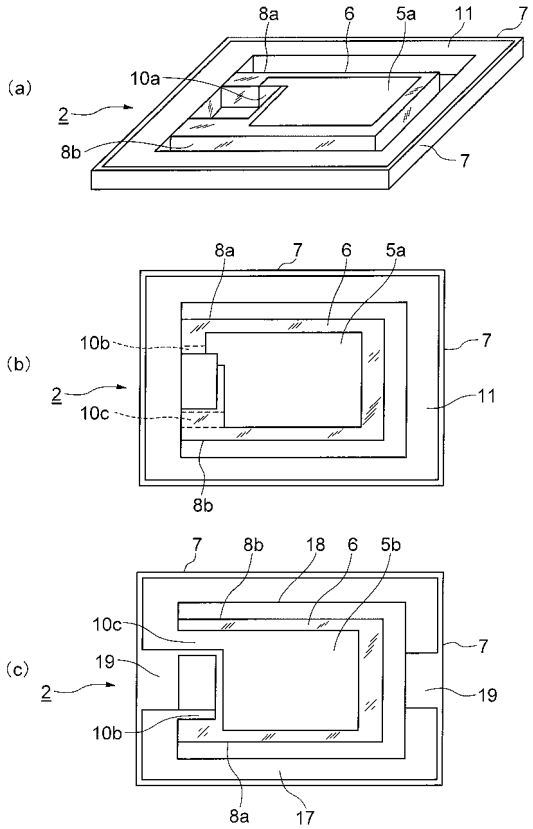
【手続補正書】
【提出日】平成23年3月16日(2011.3.16)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１８】
【図１】実施形態を説明する表面実装振動子の図であり、同図（ａ）は斜視図、同図（ｂ）は側面図、（ｃ）は同図（ａ）に示すＡ矢視方向から見た側面図である。
【図２】実施形態を説明する枠付き水晶板の図であり、同図（ａ）は斜視図、同図（ｂ）は一主面の平面図、同図（ｃ）は他主面の平面図である。
【図３】実施形態を説明するベースの図であり、同図（ａ）は一主面の平面図、同図（ｂ）は他主面の平面図である。
【図４】第１変形例を説明するベースの平面図である。
【図５】第２変形例を説明するベースの図であり、同図（ａ）は斜視図、同図（ｂ）は他主面の平面図である。
【図６】第３変形例を説明する枠付き水晶板の図であり、同図（ａ）は斜視図、同図（ｂ）は一主面の平面図、同図（ｃ）は他主面の平面図である。
【図７】第３変形例を説明するベースの図であり、同図（ａ）は一主面の平面図、同図（ｂ）は他主面の平面図である。
【図８】一従来例を説明する表面実装振動子の斜視図である。
【図９】一従来例を説明する枠付き水晶板の図であり、同図（ａ）は一主面の平面図、同図（ｂ）は他主面の平面図である。
【図１０】一従来例を説明するベースの図であり、同図（ａ）は一主面の平面図、同図（ｂ）は他主面の平面図である。

【手続補正２】
【補正対象書類名】図面
【補正対象項目名】全図
【補正方法】変更
【補正の内容】

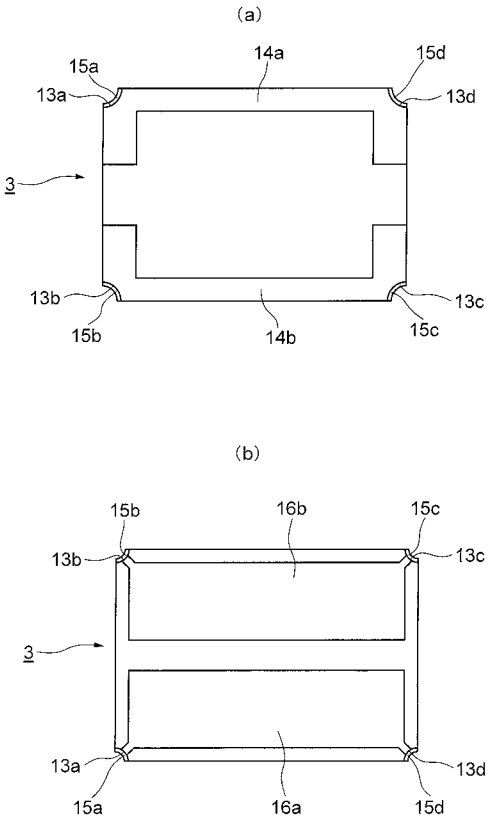
【図１】



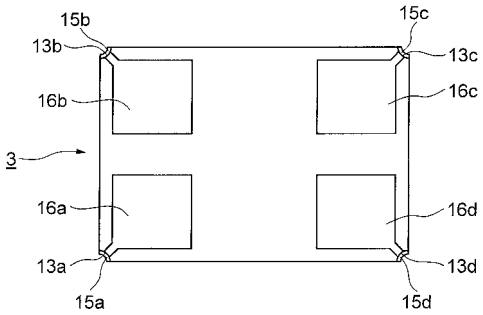
【図２】



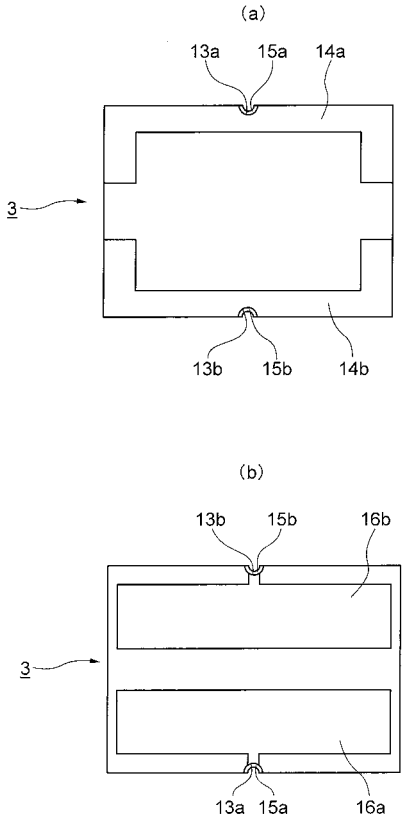
【図３】


(a)
15a
14a
15d
13a
13d
3
13b
13c
15b
14b
15c
(b)
15b
16b
15c
13b
13c
3
13a
13d
15a
16a
15d

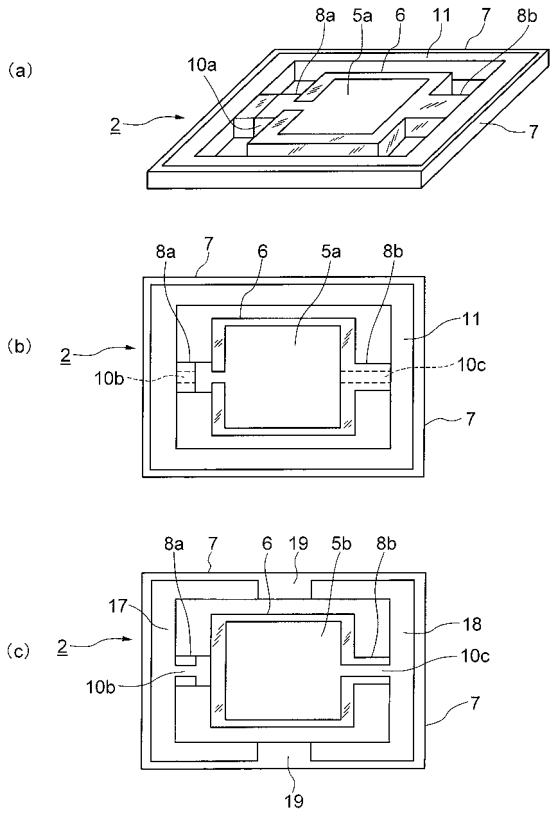
【図４】


15b
15c
13b
13c
16b
16c
3
16a
16d
13a
13d
15a
15d

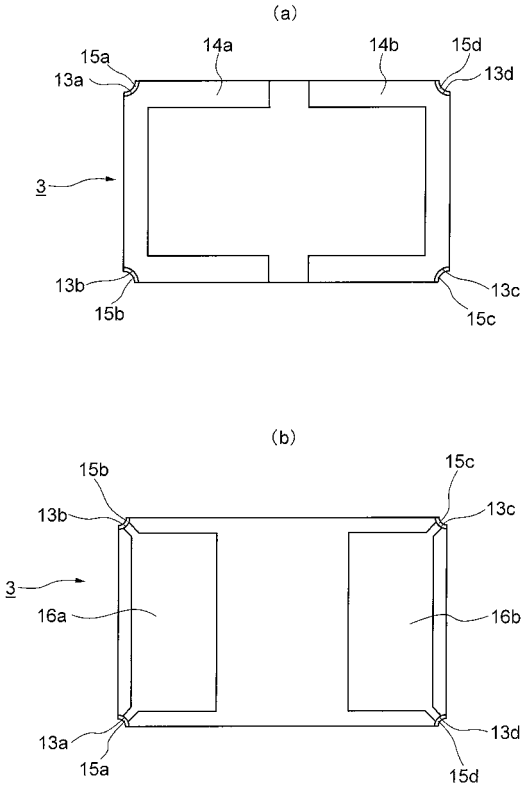
【図５】


(a)
13a
15a
14a
3
13b
15b
14b
(b)
13b
15b
16b
3
13a
15a
16a

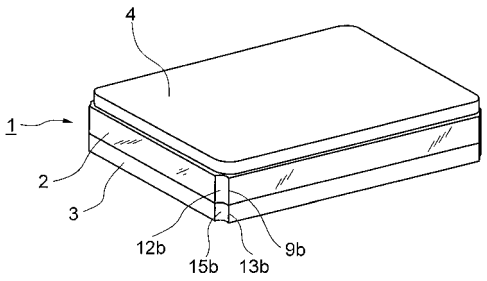
【図６】


(a)
8a
5a
6
11
7
8b
10a
2
7
(b)
8a
7
6
5a
8b
2
11
10b
10c
7
(c)
8a
7
6
19
5b
8b
17
18
2
10b
10c
7
19

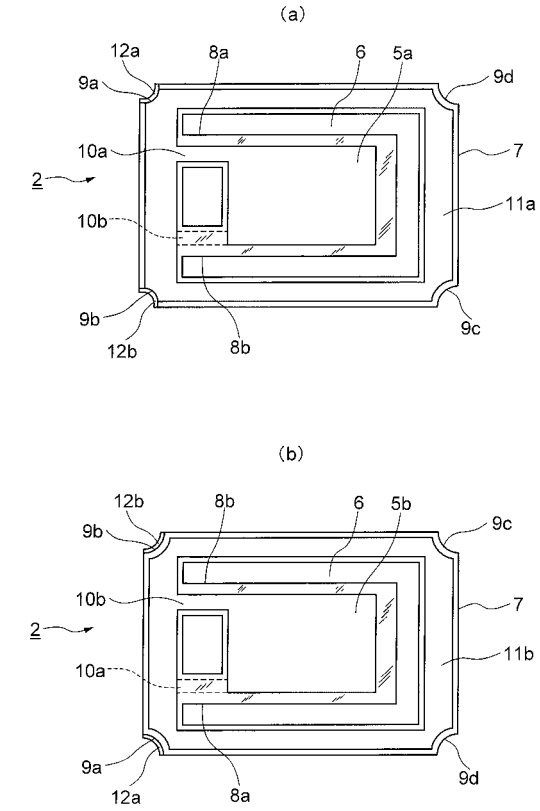
【図７】


(a)
15a
14a
14b
15d
13a
13d
3
13b
13c
15b
15c
(b)
15b
15c
13b
13c
3
16a
16b
13a
13d
15a
15d

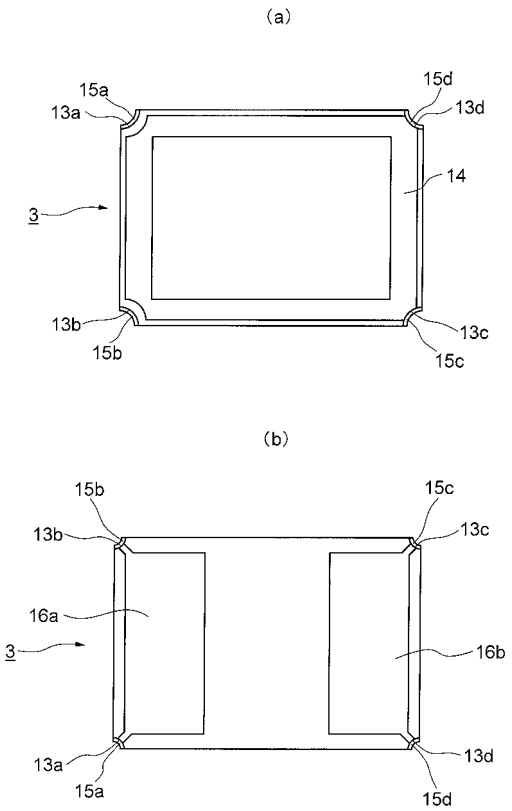
【図８】


4
1
2
3
12b
15b
13b
9b

【図９】


(a)
12a
8a
6
5a
9a
9d
10a
7
2
11a
10b
9b
9c
12b
8b
(b)
12b
8b
6
5b
9b
9c
10b
7
2
11b
10a
9a
9d
12a
8a

【図１０】


(a)
15a
15d
13a
13d
14
3
13b
13c
15b
15c
(b)
15b
15c
13b
13c
16a
3
16b
13a
13d
15a
15d